

【まちづくりファシリテーター養成講座、テキスト構成】

・目次

■はじめに

○■序章 まちづくりファシリテーターとは何か？ (連健夫：10P)

■1章、都市計画系（建築から街へ）

○1-1、都市計画における住民参加とファシリテーターの役割 (野澤康：14P)

(都市計画の歴史の中での住民参加、専門家、ファシリテーターの役割)

1-2、まちづくりファシリテーターのコミュニケーション力 (松村哲志：10P)

(まちづくりファシリテーターのコミュニケーションスキルと実践)

1-3、地域特性を活かす規制や法律 (松本昭：14P)

(地域特性を活かすルール、規制や法律、まちづくり条例について学ぶ)

○1-4、空き屋、空き地活用概論 (饗庭伸：14P)

(空き家空き地の現状と課題、その活用策、行政の対応や助成制度、担い手について学ぶ)

◇コラム：地域、地方の特徴・課題 (山田、今泉、仁多見、各1P)

■2章、建築デザイン系（ストック活用のデザイン）

2-1、建築設計と参加型のデザイン (連健夫：14P)

(建築設計における参加型の設計プロセスを事例を通して学ぶ)

○2-2、リノベーションまちづくり概論 (連勇太郎：14P)

(リノベーションとは何か？まちづくりとの関係、事例を通して学ぶ)

2-3、インスペクション、耐震化、不燃化概論 (向田良文：10P)

(インスペクション、耐震化と不燃化の技術、方法、助成制度、木造、RC造、S造の構造別に理解する)

2-4、建築・まちづくり事例講義 (三井所清典：10P)

(建築とまちづくりとの関係を事例を通して学ぶ)

■3章、合意形成ワークショップ系（参加者の心をつかむ）

○3-1、まちづくりの手法① (阿部俊彦：14P)

(まちづくりの目的に応じた手法、参加対象や募集の方法、実践スケジュールの立て方を理解する)

3-2、まちづくりの手法② (連健夫：14P)

(まちづくりの具体的手法を学ぶ、自己紹介、合意形成、街歩き、KJ法、コラージュの方法を理解する。)

■4章、不動産・マネジメント系（不動産や経営をとらえる）

○4-1、建築と不動産 (高橋寿太郎：14P)

(建築と不動産、経営、税金について理解する)

4-2、今後の不動産業、宅建士の役割、 (田中裕治：14P)

(今後の不動産業、宅建士の役割、マイナス不動産の活用を学ぶ)

■5章、修復・防災・エネルギー系（災害や保存、省エネをとらえる）

○5-1、事前復興まちづくり (市古太郎：14P)

(事前復興まちづくり訓練、防災やフェーズフリーデザインを理解する)

5-2、保存・修復とまちづくり (渡邊研司：14P)

(保存、修復とまちづくり、歴史的建築物と近代建築の保存、指定・登録、利活用)

5-3、環境、エネルギーとまちづくり (北村稔和：6P)

(SDGs、エネルギーとまちづくり、省エネ技術について学ぶ)

5-4 エネルギーとまちづくりの実践 (湯浅剛：6P)

(実践事例を通して、エネルギーとまちづくりを捉える)

□筆者プロフィール (4P)

□役に立つ文献と紹介 (8P)